


2014年度スローガン

<p>公益社団法人日本青年会議所 スローガン</p> <p>取り戻せ、日本の矜持を！</p>	<p>公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 スローガン</p> <p>意気あふれる人財が活躍する 「中つ国」の創造</p>
<p>公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 スローガン</p> <p>意気あふれる人財が躍動する 岡山の創造</p>	<p>公益社団法人岡山青年会議所 スローガン</p> 

〔目 次〕

[1]	2014年度	公益社団法人岡山青年会議所	基本理念 基本方針	2
[2]	2014年度	公益社団法人岡山青年会議所	理事長所信	3
[3]		副理事長・専務理事	方針	5
[4]		常任理事	方針	7
[5]		委員長	事業計画	8
[6]		監事	抱負	11
[7]	2014年度	公益社団法人岡山青年会議所	委員会職務分掌	12
[8]	2014年度	公益社団法人岡山青年会議所	年間公式スケジュール表	14
[9]	2014年度	公益社団法人岡山青年会議所	組織図	16
[10]	2014年度	公益社団法人日本青年会議所	出向者	17
[11]	2014年度	公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会 出向者	17
[12]	2014年度	公益社団法人日本青年会議所	中国地区 岡山ブロック協議会 出向者	17
[13]	2014年度	公益社団法人岡山青年会議所	ビジョン推進会議	17
[14]	2014年度	公益社団法人岡山青年会議所	理事長セクレタリー	17
[15]	2014年度	公益社団法人岡山青年会議所	役員選挙管理委員会 委嘱メンバー	17
[16]	2014年度	公益社団法人岡山青年会議所	収支予算書	18
(付)	2014年度	公益社団法人岡山青年会議所	理事長公職委嘱表	21
	2014年度	公益社団法人日本青年会議所	組織図	22
	2014年度	公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会 組織図	23
	2014年度	公益社団法人日本青年会議所	中国地区 岡山ブロック協議会 組織図	23
	2014年度	公益社団法人岡山青年会議所	歴代理事長	24



基本理念 困難の多い時代だからこそ、自らの力で道を切り拓く覚悟と、J Cを選んだ自分に誇りを持ち、挑んで学ぶ成長の喜びを経験しよう。そして、活力あふれるひとづくりの団体として、郷土おかやま発展の原動力となろう。

基本方針 困難に挑む気概を持ち、仲間とともに感動体験を積み、リーダーとして大きく成長しよう。礼儀を身につけ、切磋琢磨し、変革の時代に相応しい目的意識を持った手法によるひとづくりに挑もう。

持続可能な社会づくりを創造し、自らの夢の実現をめざし、自信と意欲、高い志をもって輝く未来を切り拓く力とともに、他者との関わりの中で、共に支え合い、新しい社会を創りあげる力を身につけ「協創力」を高めよう。

感謝の気持ちと礼節を持った岡山青年会議所らしい「おもてなし」の本質を追及し、参加する側・設営する側すべての皆様に学びと感動体験を感じていただき、参加者全員の心が一つになる「感謝の気持ちがあふれる交流の場」を提供しよう。

将来にわたり安定した力強い組織基盤を整備し、公益社団法人としてより責任ある組織運営に進化しよう。岡山青年会議所の魅力を隠ることなく言葉と行動で示し、戦略を立て固有の価値を発信していこう。

〔2〕2014年度 公益社団法人岡山青年会議所 理事長所信



2007年 1月入会
後期：総務財政委員会
2008年 会員交流委員会
2009年 例会・親睦委員会 幹事
2010年 例会・親睦委員会 副委員長
2011年 まちづくり委員会 副委員長
うらじゃ支援会議 副議長
2012年 総務・広報委員会 理事委員長
2013年 専務理事

第64代理事長 鈴木 賢 史

はじめに

岡山青年会議所は大きな試練を迎えています。公益事業のあり方、急速に進む会員数の減少、不安定な経済状況など、高く厚い壁が行く手を阻んでいます。私たちはこれまでも時代に合わせていくつもの変革を積み重ねてきましたが、もはや以前と同じやり方を踏襲するだけでは、ひとづくりの風土、まちづくりの志を次代につないでいくことが、難しくなっています。これからこのそびえ立つ壁に挑み、乗り越えるためには、より強く、そしてより早く個々の成長を促し、最強のひとづくり団体へと進化しなければなりません。

一生懸命やった分だけ成長できるひとづくりの風土は、岡山青年会議所が誇る素晴らしい財産です。今こそこの財産を最大限活用する時です。一人ひとりの成長とともに、組織としての成長を加速させ、誇り高いひとづくりの団体として多くの人材を輩出し、郷土おかやまの発展に貢献すること。それが、現状を打破して発展し続ける唯一の手段です。楽な道ではありません。他の誰かが通った道でもありません。全員が力を合わせてやっと通れるような道を、苦勞するからこそメンバーと組織の成長につながる道を、敢えて進みます。

「青年は人類社会発展の原動力」と謳う設立趣意書を読むと、心の底から湧いて出る志、自分たちの手でやってやろうという、たぎるような情熱を感じます。私たち岡山青年会議所は常にこの創始の精神に立ち返り、ゆるぎない信念と勇気をもって自ら最初の一歩を踏み出しましょう。私たち一人ひとりの成長が原動力となり、まちの発展に貢献する人材を送り出すことは岡山青年会議所にしかできないことであり、私たちは、ひとづくりにおいて岡山で唯一無二の存在なのです。「活力あふれるひとづくりの団体」として圧倒的に存在感を高め、郷土おかやま発展の原動力となりましょう。

挑んで学ぶ、成長への道

岡山青年会議所は、育った環境も仕事も価値観も違う者同士が、切磋琢磨して自分を磨く「学び舎」です。入会の動機はさまざまですが、多くの事業を仲間とともにやり抜き、さまざまな立場や役割を経験する中で、礼儀を身につけ、相手を思いやる心を育み、いつかはおかやまのためにリーダーとして行動できる人間へと誰もが成長することができるのです。この学び舎は教科書やビジネス書に書いてあることを勉強する場ではなく、より強く生きる力を身につける最高の道場です。大切なのは、何を学んだかではなく、どうやって学んだか。人が困難な局面に出会い受身で直面することを臨むと言い、困難な局面を自らの意志で乗り越えようとすることを挑むと言います。やってやろうという気概を持って、自ら高みに挑むことが真の学びにつながるのです。挑戦し、仲間とともに心が震えるような感動体験をたくさん積むことが、自らの成長の糧となります。そして将来、JCで成長できたからこそ、おかやまのリーダーとして活躍できる自分の姿を目指しましょう。

また、ひとづくりの手法については、変革の時代に相応しい形に思い切って進化させていく必要があります。厳しい経済情勢のもと、会社や家族の応援を受けながら活動している以上、私たちは自分の成長と行動で、その期待に全力で応えるべきです。目的意識を持ったメリハリある手法により、JCに入って大きく成長したなど周囲から評価されるくらい、メンバー自身と会社や家庭が成長の喜びを共有できるようにしていきます。

人財あふれるまちづくりの道

公益社団法人格を取得し、昨年まちのファシリテーター（とりまとめ役）の役割を目指してきた岡山青年会議所は、今後ますます「公の利益」を重んじ、率先して市民や行政との連携を深めて事業を展開しなければなりません。

特に教育問題については、行政や子を持つ世代でもある私たちを中心に大変な危機感があります。かつて教育県と謳われた面影はなく、全国でも低位にある学力、不登校、校内暴力に関するデータは、教育現場の活力のなさを感じさせます。気候も良く自然に恵まれ、産業や文化も発展しているにもかかわらず、本来子どもたちが享受すべき健全な成長の機会が失われているようで、残念でなりません。このままでは未来ある子どもたちに申し訳なく、まちの魅力や活性化という視点からも大きな損失です。親や地域の大人たちも子どもを育む力を学び、子どもたちがよりよく生きる力や人生を豊かにする考え方を身につけることができるような事業を行います。

また、昨年20回を迎えたうらじゃは過去最高6900人の踊り子と58万人の観客を集め、ますます市民に支持されるまつりへと進化しました。大学生の就職履歴書で「学業以外に特に力を注いだこと」という欄がありますが、ここにうらじゃでの活動をあげる学生もいます。うらじゃの経験を糧として自信と学びを得る若者の姿を見ると、まつりが単に踊って楽しいイベントだけではなく、心を鍛え、未来を切り拓ききっかけとなっていると感じます。その意義を強く意識しながら、さらに市民が誇りに感じるまつり

へと発展するためにも、日本各地から踊り連やファンを呼びこみ、観光資源として多くの人を呼べるように、愛され誇りとされる第21回うらじゃを支援します。

岡山青年会議所のまちづくり事業は人を集めて盛り上がる、その場限りのイベントではありません。事業を通して私たち自身まちづくりができる人材となるために、そしてまちづくりに志を持って行動できる市民を一人でも増やすためにあります。まちづくりができる人材とは、現状を学び、まちの未来を思い描いて行動できる人材のことです。岡山市の市政や商圏がダイナミックに変化を迎える今こそ、行政や市民と連携し協力して事業を創る「協創力」を高めるとともに、人と人のつながりを深め、J C内外の人的交流を深め、まちづくりに積極的な「人財」の発掘につなげます。

感謝の心が拓くおもてなしの道

人と人が集う場では、お互いが気持ち良く過ごすための暗黙のルールとして、礼儀作法やマナーが存在します。これらは国や地域、時代に応じて意味や作法も違ってきますが、洋の東西を問わず無数にあります。礼儀は相手に対して敬意や感謝の気持ちを表し、人と人とを温かく結びつけることで関係を円滑にし、快適に暮らすための先人の知恵です。

岡山青年会議所では、県の内外で、また海外でも各地のメンバーと交流する機会がたくさんあります。そして例会ではメンバー同士が結束と絆を強め、学びが生まれます。そうした貴重な場を設営する際には、礼儀を強く意識した心地よい演出と快適な空間、そして楽しくてためになる体験が大切になります。私たちは相手を思いやる言葉、表情、作法、そして大切な時間を割いて参加いただくことへの感謝の気持ちで、自他ともに心地よい人間関係を引き出し、参加者全員の心が一つになる場を創り出します。

参加する側である場合、こうした交流の機会を設ける情熱と苦労は、おもてなしを体で覚えてきた私たちにはよく理解できるはずです。その志に思いを馳せ、意を汲み、感謝の心を持って参加することは、相手への礼儀と敬意を示すだけでなく、結局は友情や学びとして自分自身に返ってくるものです。設営の気遣いを感じとれる感性を大切に、自ら爽り多い時間とすべきです。

さらに、こうした場にはJ Cメンバー以外の関わりがあることを忘れるわけにはいきません。公開例会や市民の方とともに交流する機会も増えています。参加する市民やボランティア、事業に関わる全ての人々に、交流の場にあふれる感謝の心を感じていただけるよう、しっかりと誇りある青年経済人の背中を見せていきましょう。

気持ちを一つに組織進化の道

会員を拡大する活動は、まちづくりができる人材を増やす活動であり、即ち公益活動そのものと言えます。けれども残念ながら岡山青年会議所については「よくわからない」「大変そう」といった声が多いのが現状です。入らなければ本当の魅力が分からない、とはよく言われることですが、だからこそその魅力を言葉と行動で示さなくてはなりません。己を律し、背中を見せ、公益目的事業の成果について、誇りと自信を持って語りましょう。すばらしい成長体験、まちづくりにかける真摯な姿勢、かけがえのない仲間について、言葉を尽くすのです。語るべき相手は岡山市の20～30代とすると、19万人もいます。臆することなく会って語ってを積み重ねれば、魅力は確実に届き、私たちの情熱が相手の心に響くことでしょう。

また市民の皆様に対しても、J Cの活動内容についてのPRはまだ不足しています。70万人の岡山市民に愛され存在感ある団体として認められるためには、公益目的事業の広報が最も大切な活動となります。マスコミや行政と協働し、あるいはインターネットを活用しながら、まずは広く発信し認知を高めます。市内各種団体とのネットワークも大きな力となります。「仕込み」を意識した広報戦略を立て、事業はその意義と成果を堂々と、日々の活動は楽しみながらこまめに発信することで岡山青年会議所固有の価値を伝えます。

公益社団法人として新たなスタートを切った岡山青年会議所は、活力あふれるおかやまの創造のために、これからも持続的に発展し続けなければなりません。厳しい環境ではありますが、岡山青年会議所の組織運営の課題は、ある意味どの企業にも起こりうる問題です。創業300年を超える長寿企業が、日本には600社以上もあるそうです。戦争や災害、産業構造が大きく変わる中で、生き延びてきたこれらの企業の多くで共通するのは、変化への対応力と、強い結束力。過去の成功体験に縛られずに、一丸となって困難に立ち向かう姿勢は、多くの日本人が本来持っている気質なのではないでしょうか。岡山青年会議所が今後、持続的な発展を遂げる団体であるためには、いついかなる時代でも、伝統に学び、かつ変化を怖れず、気持ちを一つにして、組織を進化させる努力を続けることしかありません。質量ともに強固な組織、財政、運営方針に向けて英知を結集し、将来にわたって安定した基盤を整備するため、大胆な変革も恐れずに行動しましょう。

終わりに

もし岡山青年会議所に入る道を選んでいなかったら。時折そんな思いを持つことがあります。礼儀礼節、おもてなしの心、郷土愛、常に学び続ける姿勢と仕事への自信、尊敬する先輩、そして生涯の仲間。学校や職場だけでは経験できない、自分の想像を超えた成長の機会を、J Cでは得ることができます。

チャンスの活かし方は人それぞれかもしれませんが。無謀な挑戦は、周囲に迷惑をかけて終わることもあるでしょう。けれども、ことJ Cにおいては、仲間が応援してくれる限り、艱難辛苦に立ち向かう勇気を持つべきです。メンバーが修練、奉仕、友情をとことん体験することを通して、1年間の事業年度が終わる頃には、見違えるように大きく頼もしくなっていく姿を見るたびに、岡山青年会議所のすばらしい魅力を感じずにはいられません。「そんな無理」とできない理由を探す前に、成長の機会が目の前にあれば、迷わず全力で掴みにいきましょう。チャンスは自ら掴むものです。そして自分の手で掴んだからには、一生懸命取り組むしかありません。臨むのではなく、挑まなくては得られない成長の喜びが、そこにはあります。

そして何よりも頼りになるのは、一緒に活動する仲間の存在です。ともに苦しい経験を乗り越える同志がいれば苦労は割り算、感動は掛け算です。仲間がいるから成長できる。仲間と苦労を分かち合った経験は達成感へと昇華し、以前の自分では見ることのできなかった新しい世界が広がるはずです。

あの時、J Cを選ばない道もあったかも知れない。でも私たちにはわかります。あの時J Cを選んだからこそ、よりよい人生の道を歩んでいることを。

最後に、本年度も公益社団法人日本青年会議所に多くのメンバーを出向させていただきまます。岡山青年会議所としても、地域を超えて果たすべき役割を全うしてまいります。

特別会員の皆様方、関係各位におかれましては、公益社団法人岡山青年会議所に対しまして、絶大なご支援ご協力を賜りますことを、心よりお願い申し上げます。

〔3〕副理事長・専務理事方針



2003年 1月入会
後期：渉外委員会
2004年 日本J C 渉外委員会 幹事
2005年 会員研修委員会
2006年 日本J C 渉外委員会
2007年 メディアコミュニケーション委員会
2008年 岡山人育成委員会 副委員長
2009年 日本J C 渉外委員会 副委員長
2010年 総務委員会 理事委員長
2011年 副理事長
2012年 専務理事
2013年 副理事長

ひとづくり室

副理事長 久松 朋史

本年度、ひとづくり室担当副理事長、又、会員研修委員会委員長という大役を拝命し、その重責を強く感じております。

岡山青年会議所は、「ひとづくり」の団体とされています。青年経済人としてのマナーや礼儀を備え、研鑽を積み、あらゆる困難に直面した時に気概を持って乗り越えようとする意志を持ち、仲間と共に心が震えるような感動体験を多く積むことで、リーダーとして成長することがひとづくりと考えます。

岡山青年会議所のひとづくりは、昨今の経済情勢その他変化の目まぐるしい時代にあって、その目的は変えること無く、手法は相応しい形に進化させていく必要があります。会社や家庭の応援を受けて青年会議所活動を行う以上、大きく成長したと周囲から評価され、活力あふれるひとづくりの団体としての圧倒的な存在感を高められるよう、深謀遠慮をめぐらせ、活動して参ります。

特別会員の皆様をはじめ、会員諸兄の皆様方のご指導、ご支援を賜りますよう、心より宜しくお願い申し上げます。



2004年 1月入会
後期：まつり委員会
2005年 渉外委員会
2006年 例会・親睦委員会 幹事
2007年 総務財政委員会
2008年 会員研修委員会
2009年 渉外委員会 副委員長
2010年 渉外交流委員会 理事委員長
2011年 常任理事
2012年 常任理事
2013年 会員研修委員会 委員長
常任理事
まちづくり委員会 委員長

まちづくり室

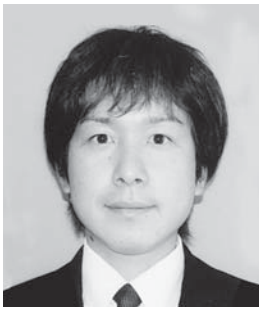
副理事長 宮 武 聡一郎

本年度、鈴木理事長よりまちづくり室担当副理事長という大役を仰せつかり、その重責を強く感じております。曳木理事委員長率います協創力確立委員会、齊藤理事委員長率いますまちづくり委員会と共に、持続可能な社会づくりを創造し、自らの夢の実現、自信と意欲、高い志をもって輝く岡山の未来を創る、人財あふれるまちづくりの道を創造して参ります。

今の岡山は教育問題について行政並びに子を持つ世代から問題視されています。その中で我々岡山青年会議所は、行政、他団体、企業や市民と連携し、教育現場と違った手法でまちづくりができるひとづくりを「協創力」を高めながら行っていきます。

また、市民参加型のまつりである「うらじゃ」に関しては、第20回という大きな節目を迎えた昨年、市民・行政・マスコミと共に『共助』の気持ちを大切に、お互いが足並みをそろえ、節目の「うらじゃ」を作り上げてきました。第21回「うらじゃ」は組織として継続性を持たせ、しっかりと運営に関わっていき、更なる岡山の活力と市民が誇りに感じる事ができるように岡山青年会議所メンバー一丸となって取組で参ります。

最後になりましたが、これまで諸先輩方から教えていただいた事を活かし、岡山青年会議所だからこそできる、イベントではない、「まちづくりができるひとづくり事業」を1年間創り上げ邁進していきたいと思っております。特別会員・現役会員の皆様方には、より一層のご指導・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



交 流 室
副理事長 **上 野 雅 史**

本年度、鈴木理事長のもと交流室担当副理事長という大役を仰せつかり、木道委員長率います渉外委員会を担当させていただきます。

交流室は、岡山青年会議所らしさとして綿々と受け継がれてきた「おもてなし」、その本質を追及した活動を基本方針といたします。そして、それを実践することによって得られる様々な気づきや学び、感動体験を、同じ志を持つ多くの仲間たちとは「真の友情」を培う場として、また多くの市民の皆様へは「感謝のあふれる交流」の場として提供し、我々自らも「挑んで学ぶ成長の喜び」の場となる活動を積極的に行います。

礼儀礼節を踏まえた心地よい設えの中で、常に相手の心に自分の心を寄り添わせ見返りを求めず行動ができる、そんなホスピタリティに満ち溢れた「思いやりの精神」と、かけがえのない一期一会の貴重な機会への「深い感謝の気持ち」を心に持ちながら、青年経済人として、若者らしい熱い情熱を背中ですす。そのような設えから生まれる交流の場を全ての皆様に「宝物」として感じて頂けるような活動を行います。

特別会員の皆様をはじめ、会員諸兄の皆様におかれましては、厳しいご指導ご鞭撻、温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 2006年 7月入会
- 2007年 メディアコミュニケーション委員会
- 2008年 まちづくり委員会 幹事
- 2009年 岡山人開発委員会
- 2010年 会員研修委員会 副委員長
- 2011年 総務・広報委員会 副委員長
- 2012年 渉外交渉委員会 理事委員長
- 2013年 副理事長



専務理事 **上 神 健 治**

本年度、鈴木理事長より歴史ある岡山青年会議所の専務理事という大役をご指名いただき、光栄に思うと同時にその責任の重さを強く感じております。専務理事として理事長、副理事長をしっかりとお支えし、また他L O Mや特別会員の皆様との連携を密にとりスムーズな組織運営、事務局運営を行って参ります。

また総務室として浅原委員長率いる拡大・広報委員会、佐野委員長率いる総務委員会を李常任理事と共に担当させていただきます。公益社団法人として新たなスタートを切り、市民との連携をより強化するためにも、今まで以上に透明性と責任感のある組織運営に進化することが求められます。公益二年目となる本年度は、昨年度公益元年として築いた運営をより進化させ、将来にわたり安定した組織の基盤を築いて参ります。また組織の基礎となる会員の拡大は最大の課題で急務です。市民に愛され存在感ある団体として認められる為にも公益目的事業の広報を戦略的に立て、J Cの魅力を言葉と行動で示し、志ある仲間を増やして参ります。

最後になりましたが、特別会員の皆様をはじめ、メンバーの皆様におかれましてはより一層のご指導ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

- 2009年 1月入会
- 後期：日本J C渉外委員会
- 2010年 会員研修委員会 幹事
- 2011年 ローカル・アクティビティ委員会 副委員長
- 2012年 まちづくり委員会 理事委員長
- 2013年 総務委員会 理事委員長

〔4〕 常任理事方針

ひとつづくり室



常任理事 永野 斗執典

本年度、鈴木理事長よりひとつづくり室担当常任理事を仰せつかり、その役割と責任の重さを強く感じております。

岡山青年会議所が64年間大切に受け継ぎ、守ってきた無形の財産「ひとつづくり」を久松副理事長にご指導いただきながらも、私が今まで受けてきた教えを最大限、新入会員をはじめとするメンバーに伝えて参ります。

また、現在岡山青年会議所を取り巻く社会情勢は、大きく変化して参っております。今までの手法をそのまま継承するだけでは時代に取り残されます。変化と速度の速い時代に即した、そして効果的な手法を実践して行く時が来ていると感じております。

「J Cで成長できたからこそ、おかやまのリーダーとして活躍できる」と言える、メンバーを一人でも多く輩出するための初めの大事な役割だという認識をしっかりと持ち、これまで守り継いできたひとつづくりの情熱と誇りを大きく育て、岡山青年会議所の発展に貢献して参ります。

最後になりましたが、最終年度を迎え、自分の持っている全てを後進に引き継げるよう、精いっぱい職務を全うして参ります。特別会員・現役会員の皆様にはより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心より宜しくお願い申し上げます。

2004年 1月入会
後期：会員開発委員会
2005年 会員研修委員会 幹事
2006年 岡山人創造委員会
2007年 会員交流委員会 副委員長
2008年 まちづくり委員会 理事委員長
2009年 出向支援特別委員会 理事委員長
2010年 渉外交流委員会 副委員長
2011年 ローカル・アクティビティ委員会
2012年 副理事長
2013年 監事

総務室



常任理事 李 大成

本年度、鈴木理事長より総務室担当常任理事を仰せつかり、その重責とやりがいを強く感じております。上神専務理事よりご指導をいただきながら、浅原委員長率いる拡大・広報委員会、佐野委員長率いる総務委員会と共に組織の将来像を共有し、気持ちを一つに組織を進化して参る所存でございます。

拡大・広報委員会では、最大の課題である拡大について、岡山の青年に対しJ Cの魅力を言葉と行動で示します。公益目的事業の成果を誇りと自信を持って語り、私たちのありったけの情熱を臆することなく相手の心に届け、同志の拡大に心血を注ぎます。また広報活動としては「仕込み」を意識した広報戦略を立て、マスコミ、行政と協働し、市内各種団体とのネットワークを活用しながら、岡山青年会議所固有の価値を伝えて参ります。

総務委員会では、将来に向けて質量ともに強固で安定した組織、財政、運営方針の基盤を整備する事が、今求められています。その為には変化への対応力と強い結束力が不可欠です。ますますの透明性と規律性を保ち、責任ある組織運営へ進化すべく、情熱を灯して参ります。

最後に、特別会員・現役会員の皆様方には一層のご指導ご鞭撻、またご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2006年 7月入会
総務財政委員会
2007年 会員研修委員会 幹事
2008年 出向支援特別委員会 幹事
2009年 日本J C特別委員会 副委員長
2010年 例会・親睦委員会 副委員長
2011年 例会・親睦委員会 理事委員長
2012年 例会・親睦委員会 理事委員長
2013年 会員研修委員会 理事委員長

〔5〕 委員長事業計画

会員研修委員会



委員長 久松 朋史

本年度、会員研修委員会の委員長を仰せつかり、岡山青年会議所の大切な新会員をお預かりすることを大変光栄ながらも、その重責を感じております。

岡山青年会議所のひとつづくり室の委員会として、単に研修プログラムをこなすのでは無く、困難を乗り越える気概を持ち、見識を高め、他を敬い、自身を高める努力をし続けるひとつづくりを実践して参ります。

本年度の会員研修委員会では、まず青年経済人としてのマナーや礼儀、考え方を身につけるべく、新会員勉強会を開催します。講師をお招きしての委員会を開催しご講演を頂くことで、岡山青年会議所での活動意義、そしてひとつづくりの礎となる気づきを得ることで成長することが出来る場を創ります。仮入会者の時期の集大成として3分間スピーチを開催し、自分と向き合った上で、なりたい自分になる自己実現の為にビジョンを明確にします。新会員となってからは、団結して困難に立ち向かい、その過程の中で切磋琢磨しながら互いに認め合い、通常では得ることの出来ない絆と感動経験を積み重ねます。研修の最後のプログラムとして、L O M サービス事業の企画・運営し、岡山青年会議所の事業の組み立てを通じておもてなしや他を敬うところを学び、「魅力的な人間」に成長させたいと考えます。

又、研修プログラムだけでは無く、日本 J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、L O M が行う事業にも積極的に参加し、新会員へその意義を伝え、多くの価値観に触れ、各地メンバーとの出会いの場を活かして参ります。「うらじゃ」へ積極的に参加し、岡山 J C と岡山のまちづくりとの関わりを体感してもらいます。

これら研修プログラムの目的を明確にし、前期・後期の研修期間を濃密で貴重な時間にする事で、J C メンバーとしての基礎を培うことはもちろん、その後の人生においても大きな影響を与えるような研修を行い、「与えること」の出来るひとつづくりをして参ります。特別会員、現役会員の皆様には何卒ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い致します。

2003年 1月入会
後期：渉外委員会
2004年 日本 J C 渉外委員会 幹事
2005年 会員研修委員会
2006年 日本 J C 渉外委員会
2007年 メディアコミュニケーション委員会
2008年 岡山人育成委員会 副委員長
2009年 日本 J C 渉外委員会 副委員長
2010年 総務委員会 理事委員長
2011年 副理事長
2012年 専務理事
2013年 副理事長

協創力確立委員会



委員長 曳木 実

郷土が抱える問題は複雑化しており、解決方法を見つけることも容易ではありません。

様々な価値観が共に調和し、それぞれが幸せを享受できる豊かな郷土づくりが出来ると期待が寄せられています。

私たちは、日頃より青年会議所運動として奉仕を目的に修練を行い、その中で芽生えた固い結束力と友情を培っています。その力を活かし、若者らしい発想から生み出される時代に合ったビジョン・夢を持ったカッコいい大人の代表として期待に応えるべく、郷土のファシリテーターとして各所に協力を促し、より良い郷土を創っていくための原動力となるよう活動していきます。

協創力確立委員会では、郷土岡山が抱える教育問題に対して市民、行政、企業、マスコミなどと相互理解を深め協働してネットワークを構築し、学校では教わることで出来ない社会の仕組みを体験することができる事業を通じ、郷土の未来を担う子供たちが健全に成長する事ができる機会を創出していきます。

また、市民公開例会の設営を担い、講演に参加していただくことで保護者や教育関係者に対して私達が日頃より大切にしている不易と流行を伝え、子供たちの成長や学力向上に必要な精神を再確認していただきます。

また、本年、開催される持続発展教育（E S D）に関するユネスコ世界会議のうち、関係機関の国際会議を支援します。県内で初となる国際会議の開催は、郷土岡山が都市としてレベルアップを図れるまたとないチャンスです。開催するにあたり当会議所が培ってきた様々なノウハウを求められており、その要請に応えることで郷土岡山における当会議所の役割を果たしていきます。

まちづくりとは、不特定多数における合意形成およびその手法のことです。岡山青年会議所が市民や関係各所と協議を重ね、各セクションが役割を意識ながら協力し、よりよい郷土を創っていく力を確立しながら取り組み、そして私たち一人ひとりが岡山青年会議所の看板を背負う心意気で若者らしく思い切って活動して参ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

2009年 1月入会
例会・親睦委員会
2010年 アクティブシニア創造委員会 幹事
2011年 渉外・交流委員会 副議長
2012年 うらじゃ支援会議 副委員長
まちづくり委員会 副委員長
2013年 うらじゃ支援会議 副委員長
まちづくり委員会 副委員長

まちづくり委員会



2010年 7月入会
2011年 総務・広報委員会
2012年 まちづくり委員会
法人格移行実践会議 幹事
2013年 まちづくり委員会 副委員長

委員長 齊藤 雄一郎

不安定な経済状況において困難の多い時代に我々岡山青年会議所メンバーは郷土おかやまに対して何が出来るのでしょうか。困難が多いからこそ、現状を学び、未来を思い描き、岡山青年会議所一体となって懸命に活動し、現状を変革する事が一人ひとりの成長に繋がります。岡山青年会議所が多くの人材を育成し続けてこそ、郷土おかやまの発展に貢献する事に繋がると確信しています。

まちづくり委員会では昨年に引き続き支援会議ではなく委員会として第21回うらじゃに対し積極的関与をさせていただきます。今まで以上に「うらじゃ」を通じ岡山の活力と市民の皆様が誇りに感じる事が出来る様、岡山青年会議所メンバーが全力で取り組み、「公の利益」を重んじ、今後ますます市民の皆様や行政との連携を深めて参ります。

教育におきまして郷土おかやまは多くの問題を抱えています。子どもたちの教育場の最小単位である親子を対象とした事業を行います。子どもたちに自ら進んで親や多くの方々と積極的なコミュニケーションをしていただく事により、教育現場では教えて貰う事が出来ない事を学んでいただき、学ぶ事の楽しさに気づいていただき、本来持っている能力を引き出す事に繋がります。

また、さよなら例会の設営を通じ、メンバーに対し礼節を持ち、感謝の気持ちを持ち設営を行う事により思い出の残る例会にさせていただき、また設営を行う事により友情や学びを感じ取っていただきます。

最後になりましたが、岡山青年会議所が市民、地域、行政、マスコミ及び企業と協力して郷土おかやまの原動力となる事業を行い、積極的に地域全体を巻き込んで公益社団法人格を取得した岡山青年会議所だからこそ出来る事業に積極的に取り組んで参ります。特別会員・現役会員の皆様方には、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

渉外委員会



2010年 7月入会
2011年 総務・広報委員会
2012年 会員研修委員会 幹事
2013年 会員研修委員会 副委員長

委員長 木道 茂樹

岡山青年会議所がさらなる高みを求め、現状を打破し発展し続けるには、メンバー一人ひとりが、岡山青年会議所が大切にしてきた、「おもてなし」の心を持ち、事業に関わる全ての人々と交流し、様々な気付きや学び、感動体験を得ていく必要があります。我々、渉外委員会は参加者が清々しく時を過ごせ、かけがえのない一期一会の機会に感謝し、お互いが次回、再度交流を計りたいと思っただけの設営を行うべく全力を尽くします。

事業を実施するにあたり、人の喜びが自分の喜びであるという精神で、「おもてなし」の本質を徹底的に考え抜き、企画・設営を行います。懇親の場では、礼儀礼節を重んじ、お互いが腹の底から本音で語り合い、また再会したいと思っただけの企画・設営を行います。また、各事業に積極的に参加していただく為に、なぜこの事業を行うのか、背景・目的を分かりやすく説明し、「楽しそうだ、ぜひ参加してみたい」と思わせる事前PRを行います。出向者LOMナイトでは、出向者が出向先でどのような活動を行っているかを参加者に分かりやすく紹介し、また、参加者が出向者と膝を交えてじっくりと語り慰労・激励を行い、出向者が感謝の気持ちを持って活躍しようと思っただけの設営を行います。友好LOM交歓会では、相手のLOMと時間をかけて事前打ち合わせを行い、お互いのメンバーが感謝しあい、心地よく人間関係を深められる企画・設営を行います。京都会議、岡山ブロック会員大会、中国地区コンファレンス、全国大会、ASPAC、JCI世界会議では、参加者が気持ちよく学びが得られるように、事前に現地調査をしっかりと行い、ここまで準備をしてくれるのかと感動を与えられる設営を行います。

これらの取り組みを行う事により、メンバーが、人と人との交流の中で「有り難い」という感謝の気持ちを感じて、真の友情を培い、しっかりと成長出来る、「感謝の気持ちがあふれる交流の場」となる事を確信いたします。また、その場を「挑んで学ぶ成長の喜び」の場とします。

拡大・広報委員会



2011年 7月入会
2012年 渉外・交流委員会
2013年 総務委員会 副委員長

委員長 浅原 晶子

この度、鈴木理事長より拡大・広報委員会の理事委員長の拝命をいただき、とても身の引き締まる思いです。敬愛している諸先輩方から脈々と受け継がれてきた、「郷土おかやま」発展への情熱や挑戦を、次の世代へとまた次へと繋げ、力強いまちづくり活動を行うことが青年会議所の努めであり、委員会では行政や報道と協働して一人でも多くの岡山市民に、岡山青年会議所の活動を発信し魅力を伝え、会員拡大に繋げていくことが担いです。

岡山青年会議所がおかやまの「まちづくり」に貢献していることや、事業活動を多くの方に向けていただけるように、各報道関係と情報を交換する機会を増やし、社会状況をいち早く見極められ、時代にあった活動が取り入れることが出来る団体としてアピールします。また未来ある子ども達の教育の場にも力を入れていることを、行政とも密に連絡を仕合い「ひとづくり」をする団体としても積極的に情報提供いたします。最近では情報の主流ともなっていますSNSやホームページを活用してこまめに発信いたします。また広報誌である「暖流」では、公益法人格として対外に向けた広報誌とし、岡山青年会議所がおかやまに対しての思いや考えが伝わる、また事業の報告や予定などを記載して、対外から参加したくなるような広報誌にいたします。最大の課題である拡大活動としては、すばらしい成長体験、まちづくりにかける真摯な姿勢、かけがえのない仲間について、1件1件会社訪問し出合いを大切にしながら、岡山青年会議所が「まちづくり」「ひとづくり」の魅力ある団体と一言を言葉と行動で伝え、またセミナーを開催し、青年経済人としてやるべきことの学びを与え、岡山青年会議所の活動をより理解していただき会員獲得に繋がります。

おかやまには岡山青年会議所を知らない、「郷土おかやま」を愛する志を持っている仲間がたくさんいるはず。 「伝える」とは難しいことです。しかし、目標に向かい努力し続けることが「伝わる」と確信しています。

総務委員会



2011年 1月入会
渉外交流委員会
2012年 渉外交流委員会
2013年 岡山JCブランド確立委員会
副委員長

委員長 佐野 範一

公益社団法人として新たなスタートを切った岡山青年会議所は、活力あふれるおかやまの創造のために、これからも持続的に発展し続けなければなりません。総務委員会では過去・現在・未来を俯瞰して、進化への道を模索し続けていきます。また、責任ある組織運営の要としてLOMの活動を支え、取りまとめる立場として1年間LOM運営を支えて参ります。

本年は、理事委員長セミナーを例年より早い時期に行うことで、事業計画策定の段階から各々の役割や担いに対して、深い心構えを持つことを促します。副委員長・幹事予定者セミナーでは、各々の役割を認識し、委員会を円滑に運営するための能力向上を行います。事業計画・基本資料・会員名簿の作成においては、見るものの立場となり項目の精査を行います。公益社団法人として、外部に対して公正で適切な会計事務、収支予算・決算を実施することで、メンバーからお預かりするお金を適正に管理します。定款ならびに諸規則および会員資格規定は、次代の実情に即した見直し・検討を行います。総会、執行部会議、理事会の設営にあたっては、十分な事前準備により出席者が議論に集中できるよう努め、年間スケジュールに従って会議が円滑に進行するよう努めます。岡山JCアーカイブの作成においては、資料の保管を紙だけではなく、デジタルでの管理方法も模索していきます。シニアクラブ総会、世話人会、歴代理事長会議においては、特別会員との絆を深める大切な場所であり、その関係をより強固なものにするよう努めます。慶弔の取り纏め、個人情報の管理、JCCSの登録促進など、LOMメンバーサービスとしての役割を行います。また、OB合同例会では、大切な時間を割いて参加いただくことへの感謝の気持ちをもって、多くの特別会員の皆様との交流の場となるよう参加者全員の心が一つになる設営を行います。

総務委員会では、役職をこなすのではなく、岡山青年会議所らしさを大切にしながら、次代に即した進化を常に求め続けていきます。次の65周年を目指して透明性と規律を保ち、責任ある組織運営に進化できるようチャレンジしていきます。

〔6〕 監事抱負



監事 村川 智博

2014年度公益社団法人 岡山青年会議所 監事の役職を仰せつかりその重責を強く感じております。伝統ある岡山青年会議所の監事として責任と自覚を持って取り組んでいく所存であります。

公益法人格取得LOMとして2年目を迎える次年度に関しましては、より一層「公益性」に対して真摯に向き合い、確実に事業を計画実行していかねばなりません。その活動が岡山青年会議所の長期ビジョン、そして鈴木理事長の所信に則り実行されているかどうか、監事という立場から関わってまいりたいと思います。

その為にも、これまでの在籍10年間で学んできた事、先輩方からご教示頂いた事を振り返るとともに、時には初心にかえり、自分を律する事を忘れずにLOMメンバー全員が快適で活力ある運動が出来るよう支えて参りたいと思います。

皆様からの多大なるご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしく願いいたします。

2004年 7月入会
2005年 まちの活力創造委員会
2006年 会員研修委員会
2007年 会員研修委員会 幹事
2008年 親睦委員会 副委員長
2009年 出向支援特別委員会 副委員長
2010年 まちづくり委員会 副委員長
2011年 ローカル・アクティビティ委員会 理事委員長
2012年 常任理事
2013年 うらじゃ支援会議 副議長
岡山JCブランド確立委員会 理事委員長



監事 吉田 穰人

私自身、最終年度において、公益社団法人岡山青年会議所監事のご指名をいただき、その重責に対し深く感じるとともに、最後まで身を引き締めて監事を務めさせていただきます。

「監事とはなんぞや。」「卒業する者としての担いはなんぞや。」この二つの柱を基に、一年間邁進して参ります。そして、理事長が想い描く「公益社団法人岡山青年会議所」のあるべき姿を監事としてLOMメンバーに発信して参りたいと思います。また、私自身も含め、Leading LOMである岡山青年会議所が他の県下14LOMに対し、しっかりとした背中を見せているのか、先輩たちが培ってきた岡山JCメンバーとしての誇りを持った行動、言動をしているのかをしっかりと見つけて参りたいと思います。さらに、各事業においては「公益法人として」、「伝統ある岡山青年会議所として」、事業に対する方向性や手法が間違っているならば適切な指摘を行うとともに、各事業等が2年目の公益社団法人岡山青年会議所として後世にしっかりと軌跡を残す担いを伴っているのかどうかを確認して参りたいと思います。

その為にも、これまでの在籍9年間で学んできたこと、昨年、監事として諸先輩方よりご教示頂いたこと、そして自らが感じてきた想いをLOMメンバー一人ひとりに伝え、メンバーの成長、自らの成長に最重点を置き、鈴木理事長の下、微力ながら精一杯頑張って参りますので、皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

2005年 1月入会
後期：日本JC渉外委員会
2006年 日本JC渉外委員会
2007年 まちづくり委員会
ビジョン推進会議 幹事
2008年 和のこころ推進委員会
2009年 岡山人間開発委員会 副委員長
2010年 拡大・広報委員会 副委員長
2011年 例会・親睦委員会 理事委員長
2012年 監事
2013年 監事

〔7〕2014年度 公益社団法人岡山青年会議所 委員会職務分掌

【会員研修委員会】

- ・ 目的を明確にし、変革の時代に相応しい手法による新会員研修のあり方の模索、実践
- ・ 前期、後期仮入会者及び新会員の研修
- ・ 青年経済人としての礼儀、マナーの研修
- ・ JCI クリド、JCI MISSION、JCI VISION、JC 宣言、綱領、岡山 JC 三信条、及び長期ビジョンの啓蒙
- ・ 講師委員会の開催
- ・ 3分間スピーチの実施
- ・ 団結して困難に立ち向かい、切磋琢磨しながら一つのことを為すことにより、友情の礎となるプログラムの実施
- ・ LOM サービス事業を通じての研修
- ・ コミュニティプラザの開催
- ・ 他委員会への委員会訪問の実施
- ・ 会員拡大の推進
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 出向者および LOM 内出向者への支援・協力
- ・ 例会の企画・設営・実施
- ・ 第 21 回「うらじゃ」への支援・協力

【協創力確立委員会】

- ・ まちづくり、行政、教育機関、マスコミ等諸団体と連携した事業の企画・実施と協創力の強化
- ・ おかやまに誇りを持ち、豊かに生きるために必要な活力を学習できる事業の企画・実施
- ・ 広報計画に沿ったまちづくり事業に関する広報活動の積極的な実施
- ・ 緊急災害時における対応
- ・ 市民公開例会の企画・設営・実施
- ・ 会員拡大の推進
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 出向者および LOM 内出向者への支援・協力
- ・ 例会の企画・設営・実施
- ・ 第 21 回「うらじゃ」への支援・協力

【まちづくり委員会】

- ・ 岡山人を育成するための事業の企画・実施
- ・ まちづくりに関する諸団体と連携し、事業の実施及び協力・支援

- ・ 第 21 回うらじゃ実行委員会への参画
- ・ うらじゃ振興会への参画
- ・ おかやま桃太郎まつり企画広報会議への参画
- ・ 広報計画に沿ったまちづくり事業に関する広報活動の積極的な実施
- ・ 岡山 UC への支援・協力
- ・ さよなら例会の企画・設営・実施
- ・ 会員拡大の推進
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 出向者および LOM 内出向者への支援・協力
- ・ 例会の企画・設営・実施

【渉外委員会】

- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会各種ミッションへの積極的参加を促す手法の検討・構築及び参加取りまとめ
- ・ 出向者支援ナイトの企画・設営・実施（京都会議）
- ・ LOM ナイトの企画・設営・実施（京都会議）
- ・ 友好 LOM との連絡調整及び交歓会等の企画・設営・実施
- ・ 日本 JC との連絡調整及び対応
- ・ 岡山ブロック協議会出向者支援ナイトの企画・設営・実施
- ・ ブロック全体会議、ブロック内 LOM 周年等の連絡調整及び対応
- ・ 出向者 LOM ナイトの企画・設営・実施（サマーコンファレンス（横浜）・全国大会（松山））
- ・ 昭和 49 年生まれ卒業追い出し旅行の企画・設営・実施
- ・ 岡山ブロック協議会会長公式訪問例会の企画・設営・実施
- ・ 会員拡大の推進
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 出向者および LOM 内出向者への支援・協力
- ・ 例会の企画・設営・実施
- ・ 第 21 回「うらじゃ」への支援・協力

【拡大・広報委員会】

- ・ 会員拡大の推進
- ・ 入会予定者へのオリエンテーションの開催と面接の段取り

- ・対内、対外的な広報の見直し・検討
- ・広報誌「暖流」の発行
- ・広報計画を作成し、それに沿った積極的な広報活動の実施・検証
- ・行政情報交換会の企画・設営・実施
- ・各報道機関への対応および記者会見、懇親会の検討・実施
- ・岡山J Cホームページの作成・運用
- ・SNSを活用した広報活動の検討・実施
- ・特別会員・現役会員合同新年賀詞交換会の企画・設営・実施
- ・市民公開例会の企画・設営・実施
- ・日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、L O M開催事業への積極的参加と協力
- ・出向者およびL O M内出向者への支援・協力
- ・例会の企画・設営・実施
- ・第21回「うらじゃ」への支援・協力

【総務委員会】

- ・適正な公益法人会計の検討・実施
- ・会計経理事務および慶弔関係事務の実施、庶務規則に沿った事務局運営
- ・総会、執行部会議、理事会の設営・運営と議事録の作成
- ・各委員会事業計画、収支予算および事業報告、収支決算の内容精査と各会議への上程資料精査
- ・議案上程方法の見直しとデジタル会議運営の推進
- ・収支予算書、収支決算書の作成および修正予算、仮決算の実施
- ・2014年度基本資料、事業報告書、会員手帳の作成
- ・L O M年間スケジュールの作成・確認
- ・理事長公職の整理・調整
- ・定款ならびに諸規程および諸規則の見直し・検討
- ・個人情報の管理およびコンプライアンス遵守の確認
- ・理事合宿、理事委員長予定者セミナー、副委員長・幹事予定者セミナーの企画・設営・開催
- ・シニアクラブ総会、世話人会、歴代理事長会議の設営・開催
- ・日本J C 日中友好の会への入会促進
- ・J C C Sへの登録促進
- ・J C ルーム・倉庫内の備品管理と発注
- ・委員長連絡会議の設営・開催
- ・情報公開の精査と実施
- ・岡山J Cアーカイブの作成・運用
- ・特別会員・現役会員合同例会の企画・設営・実施
- ・会員拡大の推進

- ・日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、L O M開催事業への積極的参加と協力
- ・出向者およびL O M内出向者への支援・協力
- ・例会の企画・設営・実施
- ・第21回「うらじゃ」への支援・協力

【ビジョン推進会議】

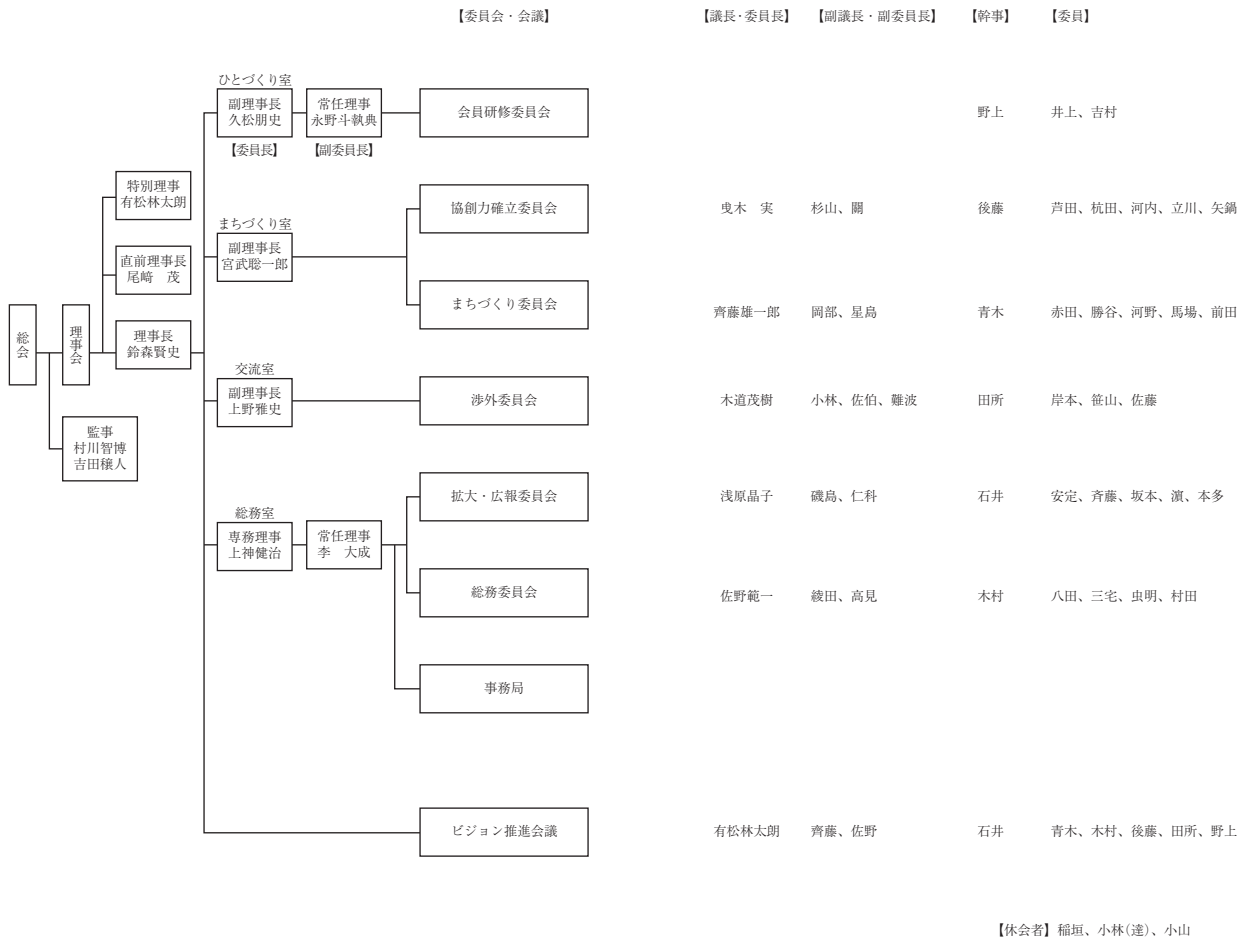
- ・定款ならびに諸規則の見直し・検討
- ・長期ビジョンの検証と新長期ビジョンの策定
- ・岡山青年会議所の各事業に長期ビジョンが反映されているかの検証
- ・岡山県、岡山市、各種団体と意見交換を行うことで相互連携を深化し、今後の岡山青年会議所としてあるべき姿の模索
- ・創立65周年記念事業の企画
- ・入会希望者の資格審査基準の見直し・検討
- ・会員資格規定の見直し・検討

〔8〕2014年度 公益社団法人岡山青年会議所 年間公式スケジュール表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
岡山青年会議所	例会	16日(木)例会①	13日(木)例会② 3分間スピーチ	6日(木)第一例会③ 総会① バッジ授与式・スマイル・ コミュニティ 27日(木)第二例会④ ブロック会長公式訪問例会	10日(木)例会⑤ 市民公開例会	15日(木)例会⑥ 市民公開例会	12日(木)例会⑦ コミュニティ・スマ イル
	執行部会議	8日(水)第1回 執行部・理事合同会議	10日(月)第2回	4日(火)第3回	8日(火)第4回	13日(火)第5回	3日(火)第6回 24日(火)第7回
	理事会	1日(水)新年理事会 8日(水)第1回 執行部・理事合同会議	18日(火)第2回 (仮入会審議)	11日(火)第3回	15日(火)第4回	20日(火)第5回	10日(火)第6回
	総務委員会	2013年12月24日(火)第1回	3日(月)第2回 25日(火)第3回		1日(火)第4回	1日(木)第5回 27日(火)第6回	17日(火)第7回
	行事	8日(水)新年挨拶回り 16日(木) 特別会員・現役会員、 合同新年賀詞交換会 23日(木)～26日(日) 京都会議	6日(木) 歴代理事長会議 8日(土) 岡山ブロック協議会 全体会議(岡山)	19日(水) 会頭公式訪問 29日(土) 岡山ブロック協議会 新会員研修会(岡山) 日() 大阪JC交歓会			1日(日) ブロック懇親野球大 会(児島)(予定) 4日(水)～7日(土) ASPAC(山形) 29日(日)岡山ブロック 大会(新見) 日()親睦事業
岡山ブロック協議会	役員会議	21日(金)備前 31日(金)笠岡	10日(月)井原 22日(土)西大寺	10日(月)高梁 15日(土)児島	5日(土)真庭 26日(土)津山	10日(土)美作 31日(土)岡山	28日(土)新見
	会員会議所会議	31日(金)笠岡	22日(土)西大寺	15日(土)児島	26日(土)津山	31日(土)岡山	29日(日)新見
	公式訪問		13日(予定)総社・高梁	4日(火)倉敷・児島・玉 島 14日(金)笠岡・井原 27日(木)岡山	14日(月)津山・真庭・新 見・美作 日()玉野・西大寺・ 備前		
	行事	8日(水)新年挨拶回り	8日(土) 岡山ブロック全体会議 日() ブロック野球部キャ プテン会議	19日(水)会頭公式訪問 25日(火)ブロックジャ がいてもキャプテン会 議 29日(土)新会員研修会		2日(金) 憲法事業 22日(木) ブロックじゃがいても 大会(備前)	1日(日) ブロック懇親野球大 会(児島)(予定) 29日(日) 岡山ブロック大会 (新見)
	周年					25日(日)美作JC40周年	
中国地区協議会	役員会議	24日(金)京都		1日(土)笠岡	11日(金)大竹	23日(金)岩国	13日(金)松江
	会員会議所会議	25日(土)京都					
	事業						
	周年行事					11日(日)鳥取JC55周年 25日(日)美作JC40周年 31日(土)長門JC50周年	1日(日)江津JC40周年 日()隠岐JC30周年 日()防府JC55周年
	ブロック事業						29日(日) 岡山ブロック大会 (新見)
	その他	24日(金)地区ナイト	7日(金)北方領土の日 22日(土)竹島の日	会頭公式訪問 19日(水)岡山 20日(木)山口 21日(金)鳥取 22日(土)鳥取 23日(日)広島			
日本青年会議所	正副会頭会議	8日(水)	6日(木) 19日(水) 27日(木)	6日(木)	3日(木) 17日(木)	1日(木) 15日(木)	2日(月) 19日(木) 30日(月)
	常任理事会	9日(木)	20日(木)	7日(金)	18日(金)	16日(金)	20日(金)
	理事会	24日(金)京都	21日(金)	8日(土)	19日(土)	17日(土)	21日(土)
	ブロック会長会議	24日(金)京都	21日(金)	8日(土)	19日(土)	17日(土)	21日(土)
	総会	25日(土)京都		9日(日)福島			
	JCI諸会議	6日(月)～12日(日) JCI常任理事会/理 事会 アメリカ(セ ントルイス)			23日(水)～26日(土) アメリカ地域会議 コロンビア(メデリ ン)	21日(水)～24日(土) アフリカ・中東地域 会議 トーゴ(ロメ)	4日(水)～7日(土) アジア・太平洋地域 会議(ASPAC)(山 形) 11日(水)～14日(土) ヨーロッパ地域会議 マルタ(バレッタ)
	NOM主要事業	23日(木)～26日(日) 京都会議		9日(日)福島 復興創造フォーラム			
	財政審査会議	4日(土) 5日(日)	15日(土) 16日(日)	15日(土) 16日(日)	12日(金) 13日(日)	10日(土) 11日(日)	14日(土) 15日(日)
	コンプライアンス審査会議	4日(土)	15日(土)	15日(土)	12日(土)	10日(土)	14日(土)
	公益審査	4日(土)	15日(土)	15日(土)	12日(土)	10日(土)	14日(土)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
岡山青年会議所	例会	3日(木)第一例会⑤ 総会② 17日(木)第二例会⑨ 総会③ チャレンジスピーチ	7日(木)例会⑩ 総会④ 3分間スピーチ 理事選挙	4日(木)第一例会⑪ バッジ授与式・スマイル・コミュニティ 18日(木)第二例会⑫ OB合同例会	16日(木)例会⑬ 市民公開例会	13日(木)例会⑭ スマイル	11日(木)第一例会⑮ さよなら例会 22日(月)第二例会⑯ 総会⑤
	執行部会議	17日(木)第8回 執行部・理事合同会議 29日(火)第9回	26日(火)第10回 執行部・理事合同会議 (仮入会審議)	16日(火)第11回	14日(火)第12回 執行部・理事合同会議	11日(火)第13回 執行部・理事合同会議	9日(火)第14回 執行部・理事合同会議
	理事会	3日(木)第7回 17日(木)第8回 執行部・理事合同会議	5日(火)第9回 26日(火)第10回 執行部・理事合同会議 (仮入会審議)	24日(水)第11回	14日(火)第12回 執行部・理事合同会議	11日(火)第13回 執行部・理事合同会議	9日(火)第14回 執行部・理事合同会議
	総務委員会	8日(火)第8回 22日(火)第9回	19日(火)第10回	9日(火)第11回	7日(火)第12回	4日(火)第13回	2日(火)第14回
	行事	19日(土)～20日(日) サマーコンファレンス(横浜)	2日(土)～3日(日) 第21回うらじゃ 9日(土) 地区コンファレンス(浜田)	日() 高松JIC交歓会(高松)	4日(土)～5日(日) 全国10LOMテニス大会(東京) 9日(木)～12日(日) 全国大会(松山) 日() 広島JIC交歓会(岡山)	15日(土) 本次年度合同引き継ぎ(岡山) 22日(土) 49年生追い出し旅行 24日(月)～29日(土) JCI世界会議 ドイツ(ライブチヒ) 日() 津山JIC交歓会(岡山)	22日(月)クリスマス家族会(親睦事業)
岡山ブロック協議会	役員会議			6日(土)玉野 13日(土)倉敷	4日(土)笠岡 25日(土)真庭	7日(金)美作 15日(土)岡山	
	会員会議所会議			13日(土)倉敷	25日(土)真庭	15日(土)岡山	
	公式訪問						
	行事	日() ブロックアカデミー				15日(土)岡山 本次年度合同引き継ぎ	
	周年						
中国地区協議会	役員会議	18日(金)横浜	8日(金)浜田	5日(金)東伯		14日(金)鳥取	6日(土)
	会員会議所会議		8日(金)浜田				6日(土)
	事業		9日(土)地区コンファレンス(浜田)				
	周年行事						
	ブロック事業	6日(日) 鳥根ブロック大会	23日(土) 鳥取ブロック大会	14日(日) 広島ブロック大会	日() 山口ブロック大会		
	その他			日() 地区野球大会(倉吉)			
日本青年会議所	正副会頭会議	16日(水)		4日(木) 18日(木)	2日(木)	6日(木) 20日(木)	11日(木)
	常任理事会	17日(木)		19日(金)		21日(金)	12日(金)
	理事会	18日(金)		20日(土)	10日(金)松山	22日(土)	13日(土)
	ブロック会長会議	18日(金)		20日(土)	10日(金)松山	22日(土)	13日(土)
	総会				10日(金)松山		
	JCI諸会議	日() グローバルパートナーシップサミット(GSP) アメリカ(ニューヨーク) 27日(日)～29日(火) JCI中間常任理事会				24日(月)～29日(土) JCI世界会議 ドイツ(ライブチヒ)	
	NOM主要事業	7日(月)～11日(金) 国際アカデミー(半田) 19日(土)～20日(日) サマーコンファレンス(横浜)			9日(木)～12日(日) 全国大会(松山)		
	財政審査会議	12日(土) 13日(日)		13日(土) 14日(日)	4日(土) 5日(日)	15日(土) 16日(日)	6日(土) 7日(日)
	コンプライアンス審査会議	12日(土)		13日(土)	4日(土)	15日(土)	6日(土)
	公益審査	12日(土)		13日(土)	4日(土)	15日(土)	6日(土)

〔9〕2014年度 公益社団法人岡山青年会議所 組織図



〔10〕 2014年度 公益社団法人日本青年会議所 出向者

人財グループ			
拡大委員会	委 員	村 川 智 博	
人間力大賞運営委員会	委 員	關 和 敏	
国際グループ			
グローバルネットワーク確立会議	委 員	仁 科 慎太郎	
総務グループ			
規則審査会議	副 議 長	李 大 成	
	委 員	磯 島 慈 海	
	委 員	佐 伯 和 哉	
	委 員	高 見 宣 哉	

〔11〕 2014年度 公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 出向者

監査担当役員	有 松 林太朗
監査担当役員幹事	齊 藤 圭
監査担当役員幹事	前 田 淳

〔12〕 2014年度 公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 出向者

	副 会 長	吉 田 穰 人
	副会長幹事	赤 田 陽 介
	副会長幹事	佐 藤 史 成
総務委員長連絡会議	副 議 長	綾 田 里 江
意気あふれる人材育成委員会	委 員	吉 村 忠 道
活気に満ちあふれた地域創造委員会	副委員長	小 林 佑 輔
光り輝く未来創造委員会	副委員長	難 波 秀 明

〔13〕 2014年度 公益社団法人岡山青年会議所 ビジョン推進会議

議 長	有 松 林太朗		
副 議 長	齊 藤 雄一郎	副 議 長	佐 野 範 一
幹 事	石 井 聖 至		
委 員	青 木 浩 平	委 員	木 村 治 貴
委 員	後 藤 学	委 員	田 所 敦 史
委 員	野 上 昌 範		

〔14〕 2014年度 公益社団法人岡山青年会議所 理事長セクレタリー

チーフセクレタリー 岡 部 憲一郎 セクレタリー 笹 山 勇 二 セクレタリー 八 田 美津子

〔15〕 2014年度 公益社団法人岡山青年会議所 役員選挙管理委員会

委 員 長	上 野 雅 史	副委員長	虫 明 純一朗
委 員	杭 田 将 志	委 員	杉 山 栄 洋
委 員	矢 鍋 淳 一	幹 事	齊 藤 圭

〔16〕公益社団法人 岡山青年会議所 収支予算書

2014年1月1日から2014年12月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	10,000		0	
特定資産利息収入	10,000		0	
②受取入金収入	1,000,000	1,000,000	0	
受取入金収入	1,000,000	1,000,000	0	
③会費収入	14,940,000	15,470,000	-530,000	
正会員会費収入	11,970,000	13,230,000	-1,260,000	
特別会員会費収入	2,895,000	2,185,000	710,000	
賛助会員会費収入	0	0	0	
特別会員積立金収入	75,000	55,000	20,000	
④事業収入	16,829,700	14,280,000	2,549,700	
登録料収入	8,329,700	5,780,000	2,549,700	
広告料収入	8,500,000	8,500,000	0	
⑤受取補助金等収入	0	0	0	
⑥受取負担金収入	0	0	0	
⑦受取寄付金収入	800,000	850,000	-50,000	
受取寄付金収入	800,000	850,000	-50,000	
受取募金収入	0	0	0	
⑧雑収入	1,000	0	0	
受取利息収入	1,000	0	0	
事業活動収入計	33,580,700	31,600,000	1,969,700	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	0	0	0	
事業費支出	0	0	0	
②管理費支出	31,755,661	30,475,804	1,279,857	
総務費支出	600,000	600,000	0	
事務所費支出	3,000,000	3,000,000	0	
会議費支出	0	0	0	
給料手当支出	1,300,000	1,300,000	0	
退職給付手当支出	0	0	0	
福利厚生費支出	0	0	0	
事務委託費支出	462,000	462,000	0	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信費支出	832,946	851,428	-18,482	
印刷費支出	2,323,000	2,325,164	-2,164	
消耗品支出	517,101	399,681	117,420	
会員費支出	1,100,000	1,100,000	0	
例会費支出	0	0	0	
広報費支出	0	0	0	
特別会員費支出	100,000	100,000	0	
修繕支出	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
渉外費	237,197	500,000	-262,803	
J C I 渉外費	100,000	100,000	0	
備品購入支出	200,000	200,000	0	
雑支出	101,575	100,840	735	
賃借料	1,513,580	1,395,918	117,662	
保険料	116,516	204,300	-87,784	
諸謝金	1,966,416	1,887,454	78,962	
委託費	8,239,297	7,403,261	836,036	
助成金	8,481,400	8,464,645	16,755	
接待交際費	564,633	81,113	483,520	
③負担金支出	1,218,695	1,340,780	-122,085	
加盟団体会費支出	1,218,695	1,340,780	-122,085	
④他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	32,974,356	31,816,584	1,157,772	
事業活動収支差額	606,344	-216,584	822,928	
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
保証金戻り収入			0	
投資活動収入計			0	
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出	500,000	500,000	0	
積立引当財産支出	500,000	500,000	0	
投資活動支出計	500,000	500,000	0	
投資活動収支差額	-500,000	-500,000	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入			0	
財務活動収入計			0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	106,344	-716,584	822,928	
前期繰越収支差額				0
次期繰越収支差額				

公益社団法人 岡山青年会議所
正味財産増減計算書
2014年1月1日から2014年12月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	予算額(公益)	予算額(共益等)	前年度予算額	差額
一般正味財産増減の部					
経常収益					
基本財産運用益	10,000	10,000		0	10,000
基本財産受取利息	10,000	10,000		0	10,000
特定資産運用益					0
特定資産受取利息					0
受取入会金	1,000,000	500,000	500,000	1,000,000	0
受取入会金	1,000,000	500,000	500,000	1,000,000	0
受取会費	14,940,000	7,470,000	7,470,000	15,470,000	-530,000
正会員受取会費	11,970,000	5,985,000	5,985,000	13,230,000	-1,260,000
特別会員受取会費	2,895,000	1,447,500	1,447,500	2,185,000	710,000
特別会員積立金収入	75,000	37,500	37,500	55,000	20,000
事業収益	16,829,700	10,600,700	6,229,000	14,280,000	2,549,700
青少年育成事業収益	400,000	400,000	0	200,000	200,000
人材育成事業収益	1,556,700	1,556,700	0	700,000	856,700
地域活性化事業収益	8,644,000	8,644,000	0	8,620,000	24,000
会員研修事業収益	6,229,000	0	6,229,000	4,760,000	1,469,000
受取補助金等					
受取国庫補助金					
受取負担金					
受取負担金振替額					
受取寄付金	800,000	800,000		850,000	-50,000
受取寄付金	800,000	800,000		850,000	-50,000
募金収益					
受取寄付金振替額					
雑収益	1,000	500	500	0	1,000
受取利息	1,000	500	500		
有価証券運用益	0				
雑収益	0				
経常収益計	33,580,700	19,381,200	14,199,500	31,600,000	1,980,700
経常費用					
事業費	27,766,464	19,811,357	7,955,107	26,576,304	1,190,160
給料手当	1,092,000	884,000	208,000	1,105,000	-13,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0
接待交際費	564,633	202,928	361,705	81,113	483,520
福利厚生費	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0
通信運搬費	736,946	463,574	273,372	761,428	-24,482
減価償却費	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	168,000	136,000	32,000	170,000	-2,000
消耗品費	461,101	367,200	93,901	347,181	113,920
印刷製本費	2,195,000	2,067,000	128,000	2,205,164	-10,164
燃料費	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0
賃借料	4,033,580	2,547,895	1,485,685	3,945,918	87,662
保険料	116,516	116,516	0	204,300	-87,784
諸謝費	1,966,416	1,966,416	0	1,887,454	78,962
租税公課	0	0	0	0	0
支払負担金	60,000	60,000	0	0	60,000
支払助成金	8,481,400	8,481,400	0	8,464,645	16,755
支払寄付金	0	0	0	0	0
委託費	7,889,297	2,518,428	5,370,869	7,403,261	486,036
有価証券運用費	0	0	0	0	0
雑費	1,575	0	1,575	840	735
管理費	5,207,892		5,207,892	5,240,280	-32,388
給料手当	208,000		208,000	195,000	13,000
臨時雇賃金	0		0	0	0
接待交際費	0		0	0	0
福利厚生費	0		0	0	0
旅費交通費	0		0	0	0
通信運搬費	96,000		96,000	90,000	6,000
減価償却費	0		0	0	0
消耗什器備品費	32,000		32,000	30,000	2,000
消耗品費	56,000		56,000	52,500	3,500
印刷製本費	128,000		128,000	120,000	8,000
燃料費	0		0	0	0
光熱水料費	0		0	0	0
賃借料	480,000		480,000	450,000	30,000
保険料	0		0	0	0
諸謝費	0		0	0	0
租税公課	0		0	0	0
支払負担金	1,158,695		1,158,695	1,340,780	-182,085
支払助成金	0		0	0	0
支払寄付金	0		0	0	0
委託費	2,612,000		2,612,000	2,262,000	350,000
有価証券運用費	0		0	0	0
雑費	437,197		437,197	700,000	-262,803
経常費用計	32,974,356	19,811,357	13,162,999	31,816,584	1,157,772
当期経常増減額	606,344	-430,157	1,036,501	-216,584	822,928
当期一般正味財産増減	606,344	-430,157	1,036,501	-216,584	822,928
一般正味財産期首残高					0
一般正味財産期末残高					0

公益目的事業比率	19,811,357	=	0.601
	32,974,356		

公益社団法人 岡山青年会議所
正味財産増減計算書
2014年1月1日から2014年12月31日まで

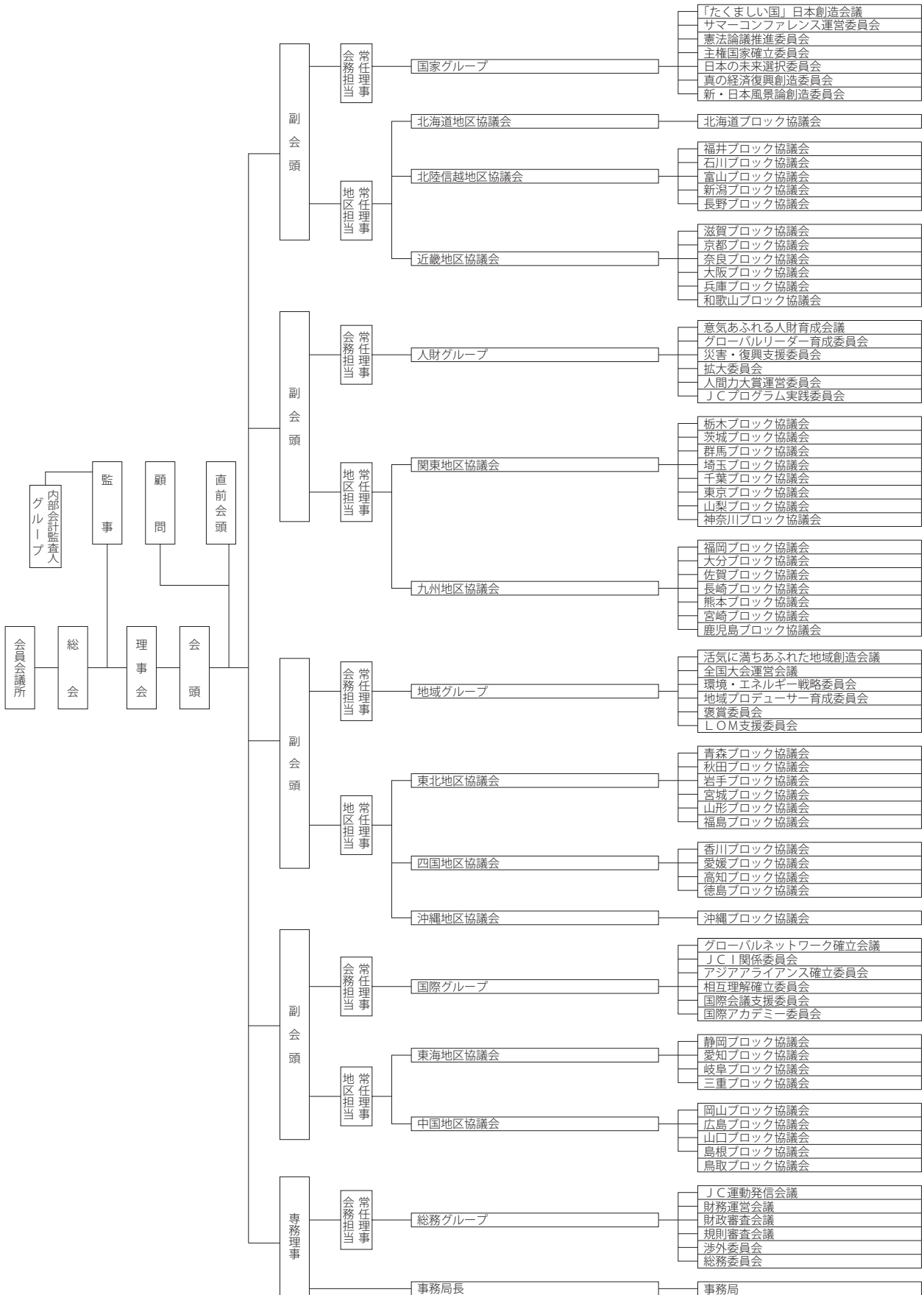
(単位：円)

科目	公益目的事業					収益事業等		法人会計	内部取引	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	他1	小計			
	青少年育成	人材育成	地域活性化			会員研修				
一般正味財産増減の部										
経常収益					0					
基本財産運用益				10,000	10,000					10,000
基本財産受取利息				10,000	10,000					10,000
受取入金	0	0	0	500,000	500,000	250,000	250,000	250,000	0	1,000,000
受取入金				500,000	500,000	250,000	250,000	250,000		1,000,000
受取会費	0	0	0	7,470,000	7,470,000	3,735,000	3,735,000	3,735,000		14,940,000
正会員受取会費				5,985,000	5,985,000	2,992,500	2,992,500	2,992,500		11,970,000
特別会員受取会費				1,447,500	1,447,500	723,750	723,750	723,750		2,895,000
特別会員積立金収入				37,500	37,500	18,750	18,750	18,750		75,000
事業収益	400,000	1,556,700	8,644,000		10,600,700	6,229,000	6,229,000			16,829,700
青少年育成事業収益	400,000				400,000		0			400,000
人材育成事業収益		1,556,700			1,556,700		0			1,556,700
地域活性化事業収益			8,644,000		8,644,000		0			8,644,000
会員研修事業収益					0	6,229,000	6,229,000			6,229,000
受取補助金等	0	0	0		0					0
受取国庫補助金					0					0
受取負担金					0					0
受取負担金					0					0
受取負担金振替額					0					0
受取寄付金		700,000		100,000	800,000			0		800,000
受取寄付金		700,000		100,000	800,000					800,000
雑収益				500	500	250	250	250		1,000
受取利息				500	500	250	250	250		1,000
有価証券運用益										0
雑収益										0
経常収益計	400,000	2,256,700	8,644,000	8,080,500	19,381,200	10,214,250	10,214,250	3,985,250		33,580,700
経常費用										
事業費	2,140,137	4,496,783	13,174,437		19,811,357	7,955,107	7,955,107			27,766,464
給料手当	97,240	203,320	583,440		884,000	208,000	208,000			1,092,000
臨時雇賃金					0		0			0
接待交際費	202,928				202,928	361,705	361,705			564,633
福利厚生費					0		0			0
旅費交通費					0		0			0
通信運搬費	48,728	145,566	269,280		463,574	273,372	273,372			736,946
減価償却費					0		0			0
消耗什器備品費	14,960	31,280	89,760		136,000	32,000	32,000			168,000
消耗品費	155,380	54,740	157,080		367,200	93,901	93,901			461,101
印刷製本費	152,425	125,120	1,789,455		2,067,000	128,000	128,000			2,195,000
燃料費					0		0			0
光熱水料費					0		0			0
賃借料	536,345	632,700	1,378,850		2,547,895	1,485,685	1,485,685			4,033,580
保険料	100,516	16,000			116,516	0	0			116,516
諸謝費	30,000	1,936,416			1,966,416	0	0			1,966,416
租税公課					0		0			0
支払負担金			60,000		60,000		0			60,000
支払助成金			8,481,400		8,481,400		0			8,481,400
支払寄付金					0		0			0
委託費 委託費	801,615	1,351,641	365,172		2,518,428	5,370,869	5,370,869			7,889,297
有価証券運用費					0		0			0
雑費 雑支出					0	1,575	1,575			1,575
管理費								5,207,892	0	5,207,892
役員報酬							0	0		0
給料手当					0		0	208,000		208,000
退職給付費用					0		0			0
福利厚生費					0		0	0		0
会議費					0		0	0		0
旅費交通費					0		0	0		0
通信運搬費					0		96,000			96,000
減価償却費					0		0			0
消耗什器備品費					0		32,000			32,000
消耗品費					0		56,000			56,000
修繕費					0		0			0
印刷製本費					0		128,000			128,000
燃料費					0		0			0
光熱水料費					0		0			0
賃借料					0		480,000			480,000
保険料					0		0			0
諸謝費					0		0			0
租税公課					0		0			0
支払負担金					0		1,158,695			1,158,695
支払寄付金					0		0			0
支払利息					0		0			0
委託費 総務費					0		600,000			600,000
委託費 事務委託					0		462,000			462,000
委託費 会員費					0		1,100,000			1,100,000
委託費 特別会員費					0		100,000			100,000
委託費 例会費					0		350,000			350,000
雑費 渉外費					0		237,197			237,197
雑費 JCI渉外費					0		100,000			100,000
雑費 雑支出					0		100,000			100,000
経常費用計	2,140,137	4,496,783	13,174,437	0	19,811,357	7,955,107	7,955,107	5,207,892		32,974,356
評価損益等調整前当期経常増減額										0
特定資産評価損益等										0
評価損益等計										0
当期経常増減額	-1,740,137	-2,240,083	-4,530,437	8,080,500	-430,157	2,259,143	2,259,143	-1,222,642		606,344
経常外費用計										0
当期経常外増減額	-1,740,137	-2,240,083	-4,530,437	8,080,500	-430,157	2,259,143	2,259,143	-1,222,642		606,344
当期一般正味財産増減	-1,740,137	-2,240,083	-4,530,437	8,080,500	-430,157	2,259,143	2,259,143	-1,222,642		606,344
一般正味財産期首残高										0
一般正味財産期末残高										0

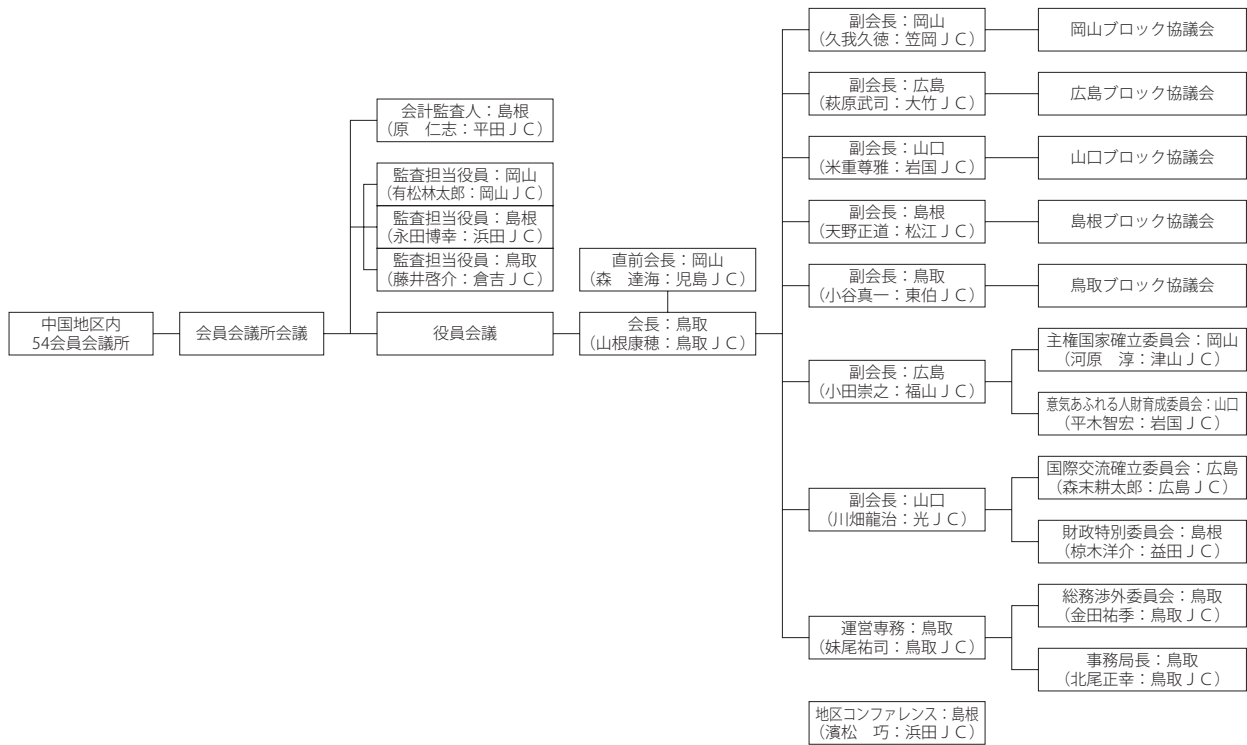
2014年度 公益社団法人岡山青年会議所 理事長公職

- 岡山県青少年育成県民会議 常任理事
- 岡山県FOS少年団連盟 理事
- 岡山県美術館運営協議会 委員
- 社会福祉法人岡山県共同募金会 評議委員
- 岡山中央暴力追放推進協議会 会員
- 岡山県西暴力追放推進協議会 会員
- 『小さな親切』運動岡山本部 役員
- 岡山西安全・安心まちづくり推進協議会 委員
- 第64回“社会を明るくする運動”岡山県実施委員会 実施委員
- 自然との共生プロジェクト推進会議 委員
- 国立吉備青少年自然の家 施設業務運営委員会 委員
- 岡山市交通安全対策協議会 委員
- 岡山国際音楽祭実行委員会 委員
- 岡山市献血推進協議会 委員
- (財)岡山市公園協会 評議委員
- 春の花いっぱい運動 主催団体
- MOMOTAROU FANTASY 実行委員会 実行委員長
- 「心豊かな岡山っ子」応援団 副団長
- 岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会
- ESDに関するユネスコ世界会議 岡山支援実行委員会 委員
- 岡山地方裁判所委員会 委員
- 岡山市ジュニアオーケストラ後援会 理事
- 旭川さくらみちの桜を守る会 理事
- 岡山県日韓親善協会 理事
- 岡山県警察友の会 会員
- 「6月1日岡山市民の日」推進協議会 理事

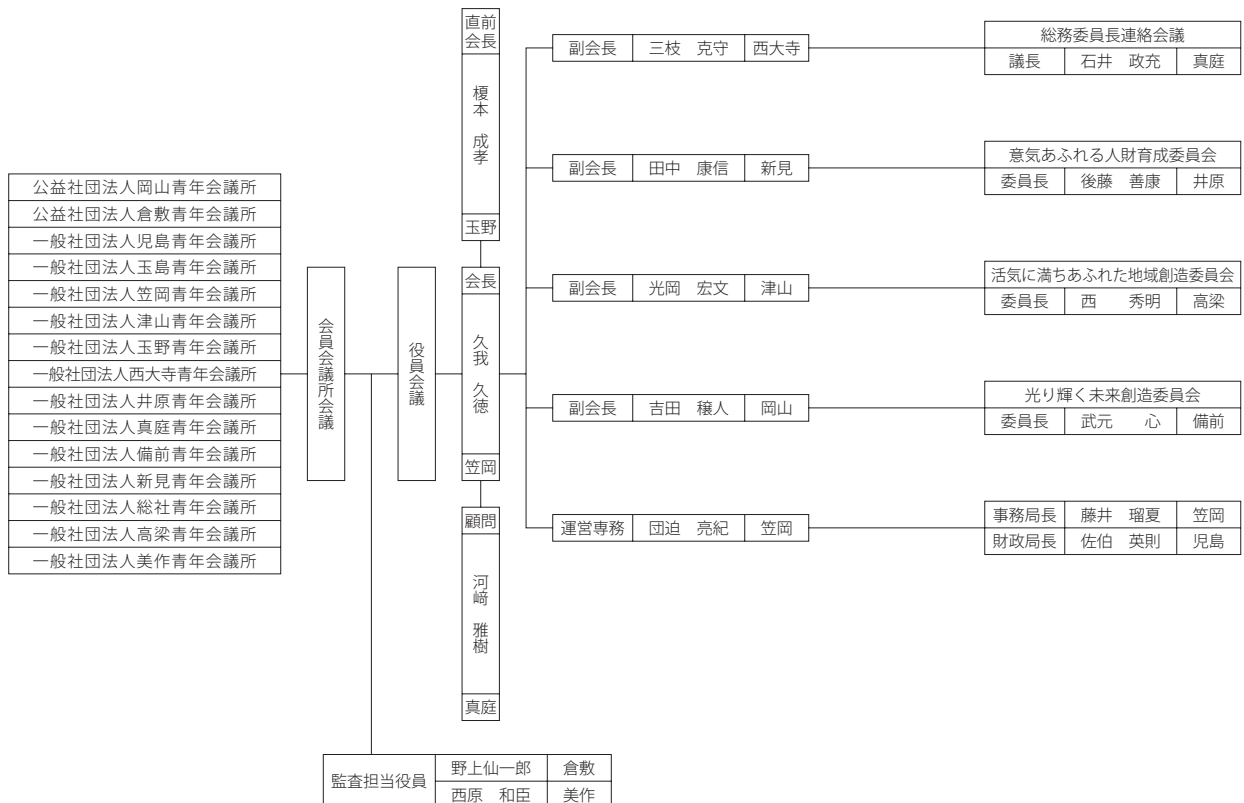
2014年度 公益社団法人日本青年会議所 組織図



2014年度 公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 組織図



2014年度 公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 組織図



公益社団法人岡山青年会議所 歴代理事長

初代	1951年	江見祐吉	第33代	1983年	岡崎彬
第2代	1952年	江見祐吉	第34代	1984年	滝澤輝治
第3代	1953年	松田基	第35代	1985年	小嶋光信
第4代	1954年	松田基	第36代	1986年	末長範彦
第5代	1955年	服部好郎	第37代	1987年	伊原木省五
第6代	1956年	稲田洋一	第38代	1988年	池田金治郎
第7代	1957年	藤木昌二	第39代	1989年	若林昭吾
第8代	1958年	池田徳五郎	第40代	1990年	中島康博
第9代	1959年	庭瀬欣一郎	第41代	1991年	永野資幸
第10代	1960年	松田堯	第42代	1992年	松田久
第11代	1961年	関種雄	第43代	1993年	服部恭一郎
第12代	1962年	西下賢治	第44代	1994年	柳井淳
第13代	1963年	逢沢英雄	第45代	1995年	森下矢須之
第14代	1964年	石原真臣	第46代	1996年	西康宏
第15代	1965年	小林達也	第47代	1997年	梶谷俊介
第16代	1966年	中島輝夫	第48代	1998年	稲荷泰瑛
第17代	1967年	黒瀬友近	第49代	1999年	永山久人
第18代	1968年	小林稔	第50代	2000年	黒瀬仁志
第19代	1969年	奥山勝太郎	第51代	2001年	西川智晴
第20代	1970年	中島博	第52代	2002年	岡崎正裕
第21代	1971年	木原佑一	第53代	2003年	藤原史曉
第22代	1972年	黒瀬敦美	第54代	2004年	梶原康彦
第23代	1973年	中野英一	第55代	2005年	八木一成
第24代	1974年	徳元秀臣	第56代	2006年	占部守弘
第25代	1975年	福武和彦	第57代	2007年	吉村武大
第26代	1976年	片山義久	第58代	2008年	石田敦志
第27代	1977年	伊原木一衛	第59代	2009年	永山雅己
第28代	1978年	石田規夫	第60代	2010年	岸本浩二
第29代	1979年	藤原敬介	第61代	2011年	中山賢太郎
第30代	1980年	前坂匡紀	第62代	2012年	有松林太郎
第31代	1981年	服部弘平	第63代	2013年	尾崎茂
第32代	1982年	野津喬			

(敬称略)